



九州・沖縄と世界をつなぐ文化拠点 / 九州国立博物館20年の歩み

九州国立博物館は、東京、奈良、京都に次ぐ国内4番目の国立博物館として、2005年(平成17年)10月に太宰府市に開館し、今年で20周年を迎えます。太宰府は、古くからアジアとの交流拠点として日本文化の礎を築いてきた地であり、九州国立博物館では「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトとした企画・展示が行われています。

今回は、太宰府天満宮などとの相乗効果により多くの観光客誘致を担う九州国立博物館について、地元経済界との関わりや文化財行政に果たす役割などを紹介します。

～九州100年の夢～ 九州国立博物館の開館

太宰府への国立博物館設置は「九州100年の夢」といわれ、学术界や経済界などの長きにわたる活動と想いで実現しました。

その始まりは1873年(明治6年)、太宰府神社(現：太宰府天満宮)の西高辻信厳らの「人々の知識の増進を図り、文明の進歩に役立てたい」という想いから、太宰府博覧会が行われたことにさかのぼります。西高辻信厳らは福岡県に「鎮西博物館の設置」を上申し、1893年(明治26年)に内務大臣の井上馨によって許可を受けましたが、日清戦争などによって計画は凍結となります。

日清戦争後の1899年(明治32年)、日本の近代美術に大きな影響を与えた岡倉天心が「九州国立博物館設置構想」を唱えますが、戦争により再び頓挫。戦後の1968年(昭和43年)には経済界も加わり、官民連携による組織的誘致活動が始まります。九州内の商工会議所で構成する九州商工会議所連合会においても、1992年(平成4年)から他の経済団体と連携して九州国立博物館の早期設置を文化庁に陳情するなど、継続して要望を続けてきました。

こうした紆余曲折を経て、文化庁は1996年(平成8年)に国立博物館の候補地を太宰府に決定しました。福岡の産官学が連携して粘り強く研究・要望をした結果、九州国立博物館の誘致につながったのです。



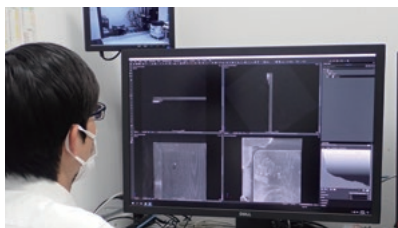
▲開館日のテープカット

九州国立博物館が文化財行政に果たす役割

貴重な国宝や重要文化財を収蔵する九州国立博物館では、展示などで歴史的・文化的資源を公開・周知するほかに、それらを守り活かしていくという役割も担っています。

①文化財修理の拠点づくり

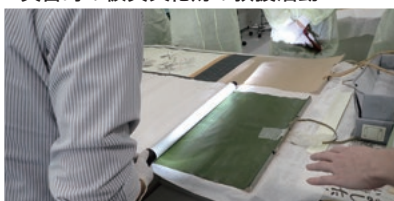
- ・作品の状態改善や復元的修理
- ・修理技術を開発



▲X線CT調査

②文化財防災センターとして 災害時に文化財を守る

- ・災害から文化財を守る技術開発や体制づくり
- ・災害時の被災文化財の救援活動



▲水損書画の初期処置のワークショップ

③収蔵する文化財を災害から守る

- ・地震の揺れを建物に伝わりづらくする「免震層」を博物館に設置



▲建物に設置されている免震層

対外交流の歴史や各国文化を五感で学び、味わう

九州国立博物館では、博物館のコンセプトを体現すべく、九州・福岡が諸外国との交流によって豊かな歴史・文化を形成してきたことを”見て、触って、体感”できるような企画がなされています。

文化交流展示室

日本がアジアやヨーロッパとの交流の中で育んできた歴史を旧石器時代から江戸時代までの5つのテーマで紹介。開館20周年を記念してリニューアルされた「文化交流シアター」では、その時代に入り込んだかのような没入感を映像で感じながら、歴史を学ぶことができます。



▲没入感のある映像空間「文化交流シアター」

体験型展示室「あじっば」

アジアやヨーロッパの衣装や楽器、玩具などを無料で体験できます！大人だけでなく子どもも、五感を使って思い切り楽しめる大人気エリアです。



▲外国の楽器を演奏できる「あじっば」

九州・沖縄と世界をつなぐ文化拠点として次の10年へ

10月に開館20周年を迎える九州国立博物館。そのアニバーサリーを飾る特別展「九州の国宝 きゅーはくのたから」が始まります。九州・沖縄にゆかりある60点以上の国宝が大集結するだけでなく、九州国立博物館が20年かけて収集した約18,000件の「たから」から厳選された逸品が公開されます。

展示では、様々な時代の文化や暮らし、人々の交流を深く感じられるように、デジタル映像の活用や体験型展示などが導入され、「学校よりおもしろく、教科書より分かりやすい」博物館が体現されています。

詳細はこちら



当所の会員限定！
優待チケットあり！



九州の国宝
きゅーはくのたから

(九州国立博物館開館20周年記念特別展)

会期：令和7年7月5日(土)～

8月31日(日)

※当所会員限定の優待チケットは本誌P8をご確認ください！
※期間中、小中学生は無料

～サイドストーリーを知れば、文化財はもっと面白い～

「九州の国宝 きゅーはくのたから」展の お宝からピックアップ！

モンゴル帝国が初めて九州北部に襲来して約750年

1本の樹からつくられた2人が
約100年ぶりに奇跡の再会！



蒙古襲来絵詞(後巻)

鎌倉時代・13世紀/

国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)

国宝

実家(古墳)が取り壊された
埴輪たち17体が
約100年ぶりの大同窓会！

(左) 埴輪 猪

重要文化財

古墳時代・6世紀/東京国立博物館

(中) 埴輪 鹿

重要文化財

古墳時代・6世紀/九州国立博物館

(右) 埴輪 鶏

重要文化財

古墳時代・6世紀/群馬県立歴史博物館



(左) 男神坐像

重要文化財

平安時代・12世紀/九州国立博物館

(右) 女神坐像

平安時代・12世紀/九州国立博物館

記事に関するお問い合わせ / 企画広報グループ TEL: 092-441-1112

九州国立博物館に関するお問い合わせ / 九州国立博物館ハローダイヤル TEL: 050-5542-8600